



# あいじつ



開校 145周年

## あいさつから始まる1日

副校長 福成 利之

新年度がスタートして、約1か月が過ぎようとしています。4月の学校公開・保護者会にはたくさんの保護者・地域の皆様にお越しいただきました。ありがとうございました。進級し多くの子が意欲的に頑張っている姿を見ていただけたのではないかと考えております。

愛日小の朝は「おはようございます！」の元気な声でスタートします。毎朝の校門では、教員だけでなく地域協働学校運営協議会の福地さんや神山さんをはじめ育成会、民生委員、牛込母の会の皆様のご協力をいただき、地域の方々とともに子どもたちを出迎えると爽やかな挨拶が返ってきます。

その中でも、立派な姿を見せてくれるのが最上級生となった6年生です。校門の前にきれいに並び、さわやかに、そして元気よくあいさつをしています。朝だけでなく、1年生の教室でやさしくお世話をする姿、委員会やクラブのリーダーとして活躍する姿などはとても頼もしいものです。これからも、様々な場面で6年生が活躍してくれることを楽しみにしています。

さて、「挨拶」には様々な力があります。朝、声を出すことで脳が活性化され、これから元気に活動しようという命令が出されます。また、「気持ちのよい挨拶」をすると、脳から「幸せのホルモン」が出て、気分がすっきりしてストレスの軽減にもつながるそうです。何より、笑顔で前向きに1日をスタートできるように、「挨拶」を大切にしています。まずは、私たち大人がよいお手本となり、気持ちのよい「挨拶の輪」が広がることを願っています。

## なかよしの日について

なかよしの日担当 中山 大路

愛日小では、異学年にわたる遊びの活動を通して人間関係や連帯感を育てることを目的につくられた、たてわり班があります。一年生から六年生までの児童、約16人で編成されています。

今年度はあいじつ子ども園と長延保育園の園児が参加する「なかよしの日」に加えて、朝の時間や授業時間を活用して実施します。内容は5・6年生が事前にたてわり会議を行い考えていきます。

一回目は5月28日(水)です。高学年の姿を見て、他学年の児童も自分たちの役割を理解して楽しく活動できるようにしていきます。

## 体育の決まりについて

体育担当 富樫 孝太郎

子どもたちが安全に楽しく体育の学習に取り組み、運動に慣れ親しむために、4月は体育の決まりを重点的に各学年で指導してきました。シャツやゼッケンはきちんとズボンにしまふことやチャックやフード付きの上着は着用しないことなど、体育の決まりを守って安全に運動できるよう環境を整えていきます。紅白帽のゴム紐がゆるんでいたり、とれてしまっていたりするお子さんも見られますので、定期的に確認をお願いします。

また、体調や怪我等で体育の学習にやむを得ず参加できない場合には、連絡帳で担任までお知らせください。